

地域とともにある学校

魅力ある学校づくりを目指して

<校訓>

樹の如く伸びよ 星の如く輝け

<学校教育目標>

自律する人間 共創する人間 録磨する人間

2019/4/22 (月) 発行

校長通信 NO28

北海道日高高等学校

町田英謙

新任教職員辞令交付式

4月3日(水)14:00から日高町門別総合市民センター大集会室において、平成31年度の新任教職員辞令交付式が開催されました。辞令交付の後、教育長の武田啓嗣様から教職員に「変化の激しい時代、学習指導要領改訂もあり、日高の子供達のために、保護者、地域、関係各位との連携・協働を大切に、学校全体で助け合って指導・生徒の成長(自立)に向け、全力を尽くして欲しい。」と激励のご挨拶がありました。歓迎の言葉として、日高町町長の大鷹千秋様より、新任教職員に対して(日高町で異動、管外からの異動、新採用、再任用)素晴らしい日高町の環境を紹介し、歓迎のお言葉がありました。

今年度、本校の人事異動はありませんでしたが、小学校・中学校の校長、教頭、教諭、事務職員を含め、日高町は28名の異動がありました。

日高小学校入学式

4月8日(月)10:00から日高小学校で入学式が挙行されました。今年度は11名の新1年生(男子5名、女子6名)が、初々しい姿で入学しました。学校長やPTA会長からのご挨拶で児童に問い掛けする場面がありましたが、大きな声で答えていました。

日高中学校入学式

4月8日(月)14:00から日高中学校で入学式が挙行されました。今年度は9名の生徒が(男子4名、女子5名)が入学しました。全校生徒19名で人数は少ないですが、温かい気持ちで新入生を迎えた式でした。

始業式

4月8日(月)18:00から本校の始業式がおこなわれ、2・3年生が元気に登校してくれました。短い春休み期間でしたが、年度末の閉寮の関係もあり、在校生は全国それぞれの地元に戻り、家庭での生活を過ごしてきました。本日から産業学習・高校寮・高校での生活が始まります。生活のリズムを整え各自目標を持って、日々の生活を充実したものにして欲しいと思います。

平成31年度日高高校入学式

4月9日(火)9:30から町民センター集会室において、日高町教育委員会産業学習入講式・北海道日高高等学校入学式がおこなわれました。今年度から町教委との連絡調整で、入講式・入学式について時間を連続し、ご来賓や保護者・生徒の負担軽減を図るため、連携する試みを始めました。

当日は、大鷹様(日高町長)、西尾様(日高町議会議長)をはじめ20名のご来賓のご臨席を賜り、盛大に開催されました。今年度、前日までは7名の新入生が入学予定でしたが、1名が家庭の事情により辞退となり、急遽6名の入学となりました。

在校生の校歌披露では、人数は少ないですが、心を込めて大きな声で温かく迎え入れる気持ちが伝わりました。

大鷹町長は、「今年は5月から新元号の『令和』が始まり、入学生は平成最後の記念すべき入学生である。」と、お話されました。新入生はそれぞれ期待に胸を膨らませ、これから日高での生活が始まります。保護者の皆様におかれましてもご子息と離れて生活することになり、大変寂しい思いをされるとお察し致しますが、日高の大自然、地域の方々、産業学習・高校の教職員との触れ合いの中で、心が浄化され「自立・自律」した一人の人間として成長していきます。安心してお預けください。

新入学された皆さん「ご入学おめでとうございます。」

宿泊研修

4月11日(木)~12日(金)、国立ひだか青少年自然の家で、学校オリエンテーションとグループエンカウター、日高町を知ることを中心に開催されました。

今回は、近藤教頭先生、担任の清谷先生、副担任の岩城先生が引率し、6名の生徒とともに交流を深めました。また、2日目には生徒会執行部と坂本先生から校歌指導と、生徒会活動について説明がありました。

管内校長会

4月17日(水)9:00~17:30、日高合同庁舎・浦河高等学校において、第1回目の管内校長会が開催されました。午前中は教育局主催で、今年度の日高の教育について日高教育局長の波岸克泰様より、重点について説明されました。

これまで日高管内においては、「夢の実現と未来の想像」をキーワードとし、先見性・創造性・チャレンジ精神にあふれ、ふるさと日高を愛し、未来の日高そして世界を想像できる子どもたちを育成する教育を推進してきました。昨年、学力向上推進会議では、「夢と志をもち、可能性に挑戦する力」と共通理解を図るとし、今年度テーマを「社会に開かれた教育課程を実現し、持続可能で豊かな地域社会を支える日高教育の創造」としました。

<重点1> 未来社会を切り拓くための資質・能力を一人一人に確実に育む学校組織の活発化

- ①「年度の重点教育目標、育成を目指す資質・能力の一層の具体化と教育課程への明確な位置付け」
- ②『北海道教育推進計画』を踏まえたカリキュラム・マネジメントの強化」「北海道高校教育アクションプログラム」の作成
- ③「主任等の役割の明確化による校内組織の運営機能の強化」

<重点2> 魅力ある学校づくりに向けた『働き方改革』の推進

- ①「教職員の実感を伴った『働き方改革』の推進」
- ②「校務分掌の見直しなどによる連携・協働体制の強化」
- ③「学校間のネットワークの構築」

<重点3> 北海道の将来を支える教職員の育成

- ①「時代の変化を先読みし、常に授業改善に取り組む教員の育成」
- ②「組織に変化を生み出すモデルリーダーの育成」
- ③「常に変化し続ける人材の育成」

終わりに、今後、予測困難な社会変化の中で信頼される魅力ある学校を創るためには、楽観論でも悲観論でもなく、変化に対して受け身で対処せず、むしろ目指すべき教育像を議論し、共有し、実現していくことが重要であると年度始の訓示をされました。